

# 下関市立学校適正規模・適正配置検討委員会 答 申 概 要

## 1. 適正規模・適正配置の基本的な考え方

### ■適正な規模

区分	全 校 学 級 数
小学校	12学級～24学級
中学校	12学級～24学級

第2期計画と  
同じ考え方

○前提条件としての1学級当たりの児童生徒数は、山口県の基準（小中学校の全年齢：1学級35人）とすることが適当である。

### ■適正な配置

区分	通学距離	通学所要時間
小学校	おおむね4km以内	おおむね1時間以内
中学校	おおむね6km以内	おおむね1時間以内

第2期計画と  
同じ考え方

#### 【適正な配置を考える上での留意点】

- 学校位置や校区の決定に当たっては、児童生徒の負担面や安全面などに配慮し、適切な通学条件や通学手段が確保されるようにする必要がある。
- 学校の配置については、全市的な学校の設置状況や地理的要因を考慮し、学校施設の整備、耐震化の状況や既存校舎を生かした教室数の確保などを検討の上、なお、適正な配置が図れない場合には、校舎の新設についても検討していく必要がある。

## 2. 適正規模・適正配置の具体的方策

### ■統合モデル

	第2期計画（12パターン）	答 申（12パターン）
中心部 旧下関市	統合校①：王江小・ <u>名池小</u> ・ <u>名陵中</u> 【小中一貫】 統合校②：関西小・ <u>桜山小</u> ・神田小 統合校③：本村小・ <u>西山小</u> 統合校④：文洋中・ <u>向洋中</u>	統合校①：王江小・ <u>名池小</u> ・ <u>名陵中</u> 【小中一貫教育】 統合校②：関西小・ <u>桜山小</u> 〈神田小は桜山小と統合済〉 統合校③：本村小・ <u>西山小</u> ・ <u>玄洋中</u> 【小中一貫教育】 統合校④：文洋中・ <u>向洋中</u> （※） ※統合後の学校位置は、小中一貫教育の推進など、総合的な観点から検討すること。
周辺部 旧下関市	統合校⑤： <u>勝山小</u> ・内日小 統合校⑥：吉母小・ <u>吉見小</u> 統合校⑦：吉田小・王喜小・ <u>木屋川中</u> 【小中一貫】 統合校⑧： <u>勝山中</u> ・内日中	統合校⑤： <u>内日小</u> ・内日中【小中一貫教育】 統合校⑥：吉母小・ <u>吉見小</u> ・ <u>吉見中</u> 【小中一貫教育】 統合校⑦：吉田小・王喜小・ <u>木屋川中</u> 【小中一貫教育】
総合支所管内	統合校⑨： <u>殿居小</u> ・豊田中小・豊田下小・ <u>西市小</u> ・ <u>豊田中</u> 【小中一貫】 統合校⑩：室津小・ <u>誠意小</u> 統合校⑪：宇賀小・ <u>小串小</u> 統合校⑫：神玉小・神田小・栗野小・角島小・ <u>阿川小</u> ・ <u>滝部小</u> ・ <u>豊北中</u> 【小中一貫】	統合校⑧： <u>檜崎小</u> ・ <u>岡枝小</u> 統合校⑨： <u>豊田中小</u> ・豊田下小・ <u>西市小</u> ・ <u>豊田中</u> 〈殿居小は豊田中小と統合〉【小中一貫教育】 統合校⑩：室津小・ <u>誠意小</u> ・ <u>豊洋中</u> 【小中一貫教育】 統合校⑪：宇賀小・小串小・ <u>川棚小</u> 統合校⑫： <u>豊北小</u> ・ <u>豊北中</u> 【小中一貫教育】 〈豊北地区全ての小学校を統合後、豊北小を開設〉

※学校名は、その学校が統合後の学校位置であることを示しています。

## 3. 適正規模・適正配置の実施に関する事項

- 学校統合は、保護者や地域住民の理解や協力をもとに進めることが必要である。
- 小中一貫教育を推進していくに当たっては、目的や効果を明確にしたうえで、具体的な取組についても示していくことが必要である。また、小中一貫教育と地域性を生かした学校づくりは一体的に考えていくものであり、コミュニティ・スクールの仕組みを活用した取組が望まれる。
- 小規模校としての在り方を検討するに当たっては、学校の適正な規模との関連性や判断基準等を明確にするとともに、教育水準の維持・向上を図っていくための方策を講じていく必要がある。その際には、市内全域からの通学を可能にする「小規模特認校制度」や、特色ある学校づくりに向けた取組が望まれる。